

研 究 生 出 願 要 項

本大学院は「麗澤大学大学院学則 (第 39 条)」に基づき、特定の専門事項について高度の研究を行おうとする者がいるときは、研究科の授業及び研究に支障のない限り、選考の上、研究生として入学を許可します。以下の説明に従って手続きを行ってください。

1. 出願資格 (博士前期・修士課程) 次の各号のいずれかに該当する者とする。

- ① 学校教育法に定める大学を卒業した者又は学士の学位を授与された者あるいは平成 30 (2018) 年 3 月大学卒業見込みの者
- ② 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者あるいは平成 30 (2018) 年 3 月までに修了見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者あるいは平成 30 (2018) 年 3 月までに修了見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学の課程 (その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。) を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者あるいは平成 30 (2018) 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑤ 外国の大学その他の外国の学校 (その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。) において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること (当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。) により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑥ 専修学校の専門課程 (修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。) で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者あるいは平成 30 (2018) 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者
- ⑧ 大学に 3 年以上在学した者、外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者、又は我が国において、外国の大学の課程 (その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。) を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めたもの
- ⑨ 本大学院において、別に定める入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22 歳に達したもの (注)

(注) 【学校教育における 16 年の課程修了を満たしていない方へ】

短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者、外国における 3 年制の大学、専修学校卒業等で学校教育における 16 年の課程を満たしていない場合 であっても、本研究科における個人の能力に対する個別審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、22 歳に達した者については、研究生として出願することができます。

該当者は、出願前に個別の入学資格審査を行いますので、4 頁の「入学資格審査について」に従って所定の手続きをしてください。

2. 出願期間

※持参書類受付時間 9時～12時、13時～16時30分（土・日・祝祭日を除く）

- ・第Ⅰ期

平成29年9月14日（木）～9月22日（金）

 <期日厳守>
 - ・第Ⅱ期

平成30年2月6日（火）～2月16日（金）

 <期日厳守>
- ※海外在住者はⅠ期のみ募集します。出願書類は保証人の持参も可とします。

※博士（前期）・修士課程（正規生）入学試験での研究生併願について

博士（前期）・修士課程（正規生）入学試験に出願し、受験することによって、併せて研究生としての入学選考を受けることもできます。これは、正規生としての入学試験では不合格であった際に、研究生としては合格にする場合があるものです。その出願期間、試験日、合格発表、入学手続については正規生の入学試験日程と同じになります。詳細は正規生の入学試験要項を参照してください。

3. 出願書類（黒ボールペン〔油性インク〕で記入してください。フリクション等の消せるインクは使用不可です。）

- ① 研究生志願書（写真添付のこと）〔本学所定用紙〕
- ② 研究計画書〔本学所定用紙〕
- ③ 推薦書（学部在学学生は指導教員、その他志願者は指導教員もしくはそれに準ずる者）〔本学所定用紙〕
- ④ 出身大学の学部成績証明書〔原本〕、大学院修了者は大学院成績証明書も併せて提出要。※
- ⑤ 出身大学の学部卒業証明書〔原本〕、大学院修了者は大学院修了証明書も併せて提出要。※
- ⑥ 研究生経費負担計画書〔本学所定用紙〕
- ⑦ 住民票（外国人留学生のみ）1通
- ⑧ パスポートの写し（外国人留学生のみ アルファベット名・在留資格の分かるもの）海外在住者は氏名がアルファベットで分かる書類
- ⑨ 大学院入学資格認定証明書（本学大学院へ入学資格審査にて認定された者のみ）

※「④」の成績証明書と「⑤」の証明書は、原則として日本語または英語によるものとします。提出書類は原本です。原本が1部しかない者は、書類確認後に写しを取って返却することもできます。希望者は①の書類の中の成績証明書返却希望 卒業証明書返却希望に必ずを記入して下さい。
なお、中国での学歴等を証明する公証書は書類原本として認めません。

4. 検定料

10,000円

※振込手数料は本人負担とします。海外から送金する場合は、2,500円の手数を加算してください。

5. 出願受付および検定料の支払い

① 出願受付について

麗澤大学大学院事務室に出願書類を提出してください。出願書類について不備がないことを確認した後に、出願書類に書かれた連絡先に受験票を送ります。

② 検定料の支払いについて

受験票と一緒に案内します。期日までに必ず振込んでください。

※一度納入した検定料は返還しません。

6. 選考について

① 書類審査及び面接等を総合して行います。

② 選考日について

- ・第Ⅰ期 平成29年10月8日（日）
- ・第Ⅱ期 <言語教育研究科> 平成30年3月3日（土）
<経済研究科> 平成30年3月2日（金）

7. 結果通知（文書）について

選考結果は、本人記載の住所宛に郵送します。なお、合格した者には、合格通知書ならびに入学書類を送付します。

選考結果通知の文書発送日は下記のとおりです。

- ・ 第Ⅰ期 平成29年10月14日（土）
- ・ 第Ⅱ期 平成30年 3月 7日（水）

8. 入学手続

合格した者は、所定の期日までに下記の書類を大学院事務室へ提出し、納入金をお支払いください。指定の期日までに所定の手続きを完了し、入学金(全額)・研究指導費(半期分)・施設費(半期分)を納入完了した場合に入学が許可されます。

【持参書類受付時間】 9時～12時、13時～16時30分（土・日・祝祭日を除く）

- ・ 第Ⅰ期

平成29年10月31日（火）

 <消印有効>
- ・ 第Ⅱ期

平成30年 3月20日（火）

 <期日厳守>

A. 手続書類

- ①誓約書
- ②学生証用写真票（顔写真・タテ4cm×ヨコ3cmを貼付）
- ③健康カード（顔写真・タテ4cm×ヨコ3cmを貼付）
- ④健康診断書
- ⑤麻疹に関する証明書類
- ⑥日本語能力に関する証明書（該当者のみ）

B. 納入金

入 学 金	研究指導費（年額）	施 設 費（年額）
150,000円	180,000円	150,000円

※研究指導費と施設費は入学手続時と第2学期納入時に分けて納入します。

※一度納入した入学金、研究指導費および施設費は返還しません。

※本学学部卒業者が本学大学院博士前期課程・修士課程の研究生に入学する場合は、入学金を50%減免します。

※振込手数料は本人負担とします。海外から送金する場合は、2,500円の手料を加算してください。

<参 考>

本学大学院博士前期課程・修士課程の研究生が本学大学院博士前期課程・修士課程に入学する場合は、入学金が50%減免になります。

9. 入学許可証の発行

ビザの更新・申請手続き等に関して「入学許可証」が必要な者は、入学手続完了者に「入学許可証」を発行しますので、研究生志願書の□入学許可証希望に必ず✓を記入してください。

10. 注意事項

- ①指導教員の指導のもと、平成30年度に開講する学部・大学院科目を聴講することができます。ただし、研究生としての聴講科目の単位認定は行いません。
- ②入学を辞退する者は、文書（様式任意）で届け出てください。
- ③外国人留学生においては、日本語による授業および指導が理解できることが前提となります。

11. お問い合わせ先

麗澤大学大学院 <http://gs.reitaku-u.ac.jp/>

【担当部署】麗澤大学大学院事務室

【住 所】〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1 生涯教育プラザ棟1階

【連絡先】TEL:04-7173-3633 FAX:04-7173-3767 E-mail:daigakuin-ka@reitaku-u.ac.jp

平成30年度（2018年度）
麗澤大学大学院 博士（前期）・修士課程
入学資格審査について

本大学院・博士課程（前期）あるいは修士課程の出願資格のうち「本大学院において、別に定める入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者」により出願しようとする者については、出願前に個別の入学資格審査を行いますので、大学院事務室（Tel：04-7173-3633）へ問い合わせのうえ、下記の要項に従って所定の期日までに必要書類を提出してください。

入学資格審査をもって、博士課程（前期）・修士課程は、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者について出願を受け付け、受験を許可します。

1. 入学資格審査の出願について

(1) 審査書類提出期限

第Ⅰ期	平成29年8月30日（水）（必着）
第Ⅱ期	平成30年1月22日（月）（必着）

(2) 提出方法

下記(3)の必要書類を任意の封筒に一括して封入し、封筒表面に「**大学院入学資格審査申請書在中**」と朱書きして、上記(1)の期限までに**書留**にて郵送してください（期限日必着）。

なお、申請書等に記載された個人情報、入学資格審査の実施・結果通知および個人を特定しない形で行う統計的な調査のために使用し、その取り扱いについては細心の注意を払います。

(3) 必要書類（黒ボールペン〔油性インク〕で記入してください。フリクション等の消せるインクは使用不可です。）

① 入学資格審査申請書（巻末綴込の本学所定用紙）

※太線で囲まれた箇所をもれなく記入してください。

② 最終出身学校の成績証明書〔原本〕

③ 最終出身学校の卒業証明書〔原本〕

④ 小論文 ※以下の通り、志願する研究科ごとに文字数等の指定がありますのでよく確認してください。

【言語教育研究科 博士課程（前期）・修士課程】（巻末綴込の本学所定用紙）

これまでに専攻したことあるいはこれから大学院で専攻しようとすることに関連したテーマについてまとめた 2,000字以上のもの（雑誌等に公刊された研究論文または最終出身学校の卒業論文がある場合はそのコピーでも可）

※Word 文書添付の場合は、所定用紙に「別紙参照」と記入し、Word 文書の最後に文字数を記入してください。

【経済研究科 修士課程】（巻末綴込の本学所定用紙）

これまでに専攻したことあるいはこれから大学院で専攻しようとすることに関連したテーマについてまとめた 5,000字以上のもの（雑誌等に公刊された研究論文がある場合はそのコピーでも可）

※Word 文書添付の場合は、所定用紙に「別紙参照」と記入し、Word 文書の最後に文字数を記入してください。

(4) 注意事項

- ①入学資格審査および提出書類等について疑問点がある場合は、書類を提出する前にできるだけ早く大学院事務室（Tel：04-7173-3633）へ問い合わせてください。
- ②提出書類に不備がある場合は、受け付けませんので十分注意してください。
- ③出願書類はすべて原本に限ります。ただし、成績証明書、卒業証明書の返還を希望する場合は、写しを取って返却することもできます。希望者は巻末の「麗澤大学大学院 言語教育研究科 入学資格審査申請書」および「麗澤大学大学院 経済研究科 入学資格審査申請書」の中の成績証明書返却希望 卒業証明書返却希望に必ずを記入して下さい。書類確認をした後に、返送します。なお、その他の書類については返還しません。また、中国での学歴等を証明する公証書は書類原本として認めません。
- ④必要書類のうち、成績証明書、卒業証明書については、入学資格が認定された場合には、大学院入学試験の出願書類の一部として流用することができます。希望者は出願の際に大学院事務室まで連絡してください。
- ⑤入学資格審査料は不要です。

2. 審査方法、審査結果の通知について

(1) 審査方法

書類審査（提出書類により審査します）

(2) 審査結果の通知

審査結果が確定次第、本人宛に通知（連絡）します。

麗澤大学大学院研究生規程

平成8年4月1日制定
平成29年4月1日最近改正

(目的)

第1条 この規程は、麗澤大学大学院学則(以下「大学院学則」という。)第39条第3項の規定に基づき、本学大学院の研究生(以下「研究生」という。)について定めることを目的とする。

(出願資格)

第2条 研究生となることができる者は、大学院学則第17条の入学資格を有する者とする。

(出願手続)

第3条 研究生志願者は、指定の期日までに本学所定の書類に検定料を添えて出願するものとする。
2 出願手続に関する必要事項は、別に定める。
3 前2項の規定にかかわらず、本大学院の入学者選考の際に研究生を併願する場合には、前項の書類提出を不要とし、第9条第1項第1号に定める検定料を全額免除する。

(入学時期)

第4条 入学の時期は、大学院学則第16条に準ずる。

(研究生の選考・許可)

第5条 研究生の選考は、書類審査及び面接等の結果に基づき、研究科委員会の議を経て行う。
2 選考に合格した者は、指定の期日までに所定の手続きをするとともに所定の研究指導費を納入しなければならない。
3 前項の手続きを完了した者に研究を許可し、研究生証を交付する。

(研究取消し)

第6条 許可された研究を中止しようとする者は、所定の用紙に理由を明記して届け出るものとする。
2 研究生が、大学の秩序を乱したとき、研究の妨げとなる行為をしたと認められるとき、あるいは正当な理由なく長期にわたって研究をしないときは、研究生の資格を取り消すことがある。

(研究生の期間)

第7条 研究生としての期間は、1年以内とする。ただし、選考のうえ、1年を限度に期間延長を許可することができる。

(指導)

第8条 研究生は、研究指導教員による指導を受けるものとする。
2 研究に必要と認められた場合は、授業科目担当教員の許可を得て、研究に関連のある授業に出席することができる。ただし、授業科目の単位認定は、行わない。
3 前項の規定にかかわらず、研究生終了後、本学大学院に進学した者については、研究生として聴講した授業科目について、10単位を上限に単位認定を行うことがある。

(検定料・入学金等)

第9条 検定料及び入学金その他の費用(以下「学費」という。)は、次のとおりとする。

- (1) 検定料 10,000円
 - (2) 入学金 150,000円
 - (3) 研究指導費 180,000円(年間)
 - (4) 施設費 150,000円(年間)
- 2 前項の規定にかかわらず、研究生としての期間の延長を認められた者については、入学金に代えて登録料50,000円を納入するものとする。
3 本学学部卒業者が、本大学院に研究生として入学する場合は、入学金を5割減免する。
4 学費の納入期限は、本学学則第55条を準用する。
5 学費の返還は、本学学則第62条を準用する。

(修了の認定)

第10条 研究生は、その研究を終え、研究生修了の認定を希望するときは、研究期間修了時、研究報告書を提出しなければならない。
2 研究生の修了認定は、研究科委員会の議を経て行い、認定者には研究生修了証明書を交付する。

第11条 削除

(施設利用)

第12条 研究生は、研究に必要な本学の施設等を利用することができる。

(事務の所管)

第13条 この規程に関する事務は、大学事務局大学院グループが所管する。

(規程の改廃)

第14条 この規程の改廃は、大学院委員会の議を経て、学長がこれを定める。ただし、第9条の改定については、理事会の議を経て、理事長がこれを定める。

附 則

<省略>

9 この規程は、平成29年4月1日から改定施行する。

受験番号

麗澤大学大学院 博士課程（前期）・修士課程 研究生志願書

□成績証明書返却希望 □卒業証明書返却希望 □入学許可証発行希望

志望研究科 ／専攻	研究科			専攻	写真添付欄 3ヶ月以内に 撮影したもの サイズ 4×3
氏名 (外国人留学生はパスポートの記載通りとすること。)	フリガナ 姓	名	性別	男・女	
現住所	〒 ()				本籍または国籍
	電話番号	e-mail			
生年月日	西暦 年 月 日 (日生 歳)		日本語能力試験		
			<input type="checkbox"/> 受験したことがある (級 点/受験時期 年 月) <input type="checkbox"/> 受験したことがない		
最終学歴	大学		卒業年度 (西暦)		所在地 (国名)
	学部		年 月 日		
	学科				
学歴	学校名 (小学校入学より記入)		所在地 (国・市)	在学期間	
				年 月 日～年 月 日	
				年 月 日～年 月 日	
				年 月 日～年 月 日	
				年 月 日～年 月 日	
				年 月 日～年 月 日	
				年 月 日～年 月 日	
				年 月 日～年 月 日	
職歴 (アルバイトは除く)	勤務先名	職務内容		所在地	在職期間
現職	(TEL)				
研究題目					
志願理由					

推薦書

(研究生用)

平成 年 月 日

麗澤大学
学長 中山 理 殿

推薦者所属・役職 _____

推薦者氏名 _____ 印

下記の志願者は、貴大学院研究生として入学希望するにあたり、適格と認め推薦いたします。

志願者氏名	志願者との関係
志望研究科・専攻	研究科 専攻
推薦理由（人物・学業成績・その他）	

研究生経費負担計画書

麗澤大学大学院事務室

1. 研究生志願者 氏名

2. 志願研究科・専攻名 研究科名 専攻

3. 1年間の研究生としてかかる経費（学費・生活費等）を、誰がどのように負担するの
かを記入してください。

【経費】

－ 1. 学費を負担する人 氏名

* 学費：480,000円

（入学金 150,000円・研究指導費（年額）180,000円・施設設備費（年額）150,000円）

－ 2. 生活費（想定される月額を経費を計算して合計金額を記入してください）

- ① 住居費（寮費・アパート代と水道光熱費等） ② 食費 ③ 交通費 ④ 書籍代
⑤ その他の経費

合計 円

【経費を負担する人とその金額】

－ 1. 負担する人の氏名・年齢 氏名 (才)

－ 2. 志願者と経費負担者との関係

－ 3. 毎月の支援予定額 円

－ 4. 海外からの送金の場合は、毎月の送金予定額 円

－ 5. 奨学金等の支援 円

－ 6. その他の収入 円

*この経費負担計画書は、個人のプライバシーに関する調査ではなく、研究生として在学する期間の学費と生活費の負担についての資金計画について記入していただくものです。

受付番号	※
------	---

平成30年度 (2018年度)
麗澤大学大学院 言語教育研究科 入学資格審査申請書

成績証明書返却希望 卒業証明書返却希望

黒ボールペン（油性インク）で記入してください。フリクション等の消せるインクは使用不可です。 ※欄には記入しないでください。

志望課程・専攻		フリガナ			男・女
<input type="checkbox"/> 博士課程(前期)	<input type="checkbox"/> 日本語教育学専攻	氏名 漢字または ローマ字	(姓)	(名)	
<input type="checkbox"/> 博士課程(後期)	<input type="checkbox"/> 比較文明文化専攻				
<input type="checkbox"/> 修士課程	英語教育専攻				
連絡先住所	(大学からの連絡、審査結果の通知は、この住所宛に行います) 〒				
電話番号	自宅 () 携帯 ()	生年月日	19 年 月 日生 (歳)		
最終 出身 学校	学校名				
	学部・学科 ・課程名等				
卒業・修了 (見込) 年月日	年 月 日	<input type="checkbox"/> 卒業・修了 <input type="checkbox"/> 卒業見込・修了見込	国籍		
学歴 小学校からの学歴を記入（日本における学歴も記入のこと） なお、大学等での研究生・聴講生・科目等履修生等として在学歴がある場合は、その期間も記入すること。	学校名	所在地 (国・市)	在学期間	年数	
			年 月～ 年 月	年 ヶ月	
			年 月～ 年 月	年 ヶ月	
			年 月～ 年 月	年 ヶ月	
			年 月～ 年 月	年 ヶ月	
			年 月～ 年 月	年 ヶ月	
			年 月～ 年 月	年 ヶ月	
職歴	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
現職	現在職業に就いている人はその職名および勤務先を記入すること。				
備考	改姓により卒業証明書・成績証明書等の氏名と現在の氏名が異なる場合に記入すること。 改姓年月日および旧姓： 年 月 日 改姓 (旧姓)				

(注意) 学歴欄は卒業見込み、修了見込みの場合も必ず記入すること。
なお、履歴中に虚偽の事項を記載し、又は当然記載すべき事項を記入しなかったことが入学資格認定後判明した場合には、認定を取り消すことがある。

●この申請書に記載された個人情報は、入学資格審査の実施・結果通知に使用します。

《博士課程を志望する者は2ページ目にも記入のこと》

承認	却下

博士課程(後期)を志望する者のみ記入

研究 歴	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
研究論文 (業績) 一覧	

受付番号	※
------	---

平成30度（2018年度）
麗澤大学大学院 経済研究科 入学資格審査申請書

成績証明書返却希望 卒業証明書返却希望

黒ボールペン（油性インク）で記入してください。フリクション等の消せるインクは使用不可です。 ※欄には記入しないでください。

志望課程・専攻		フリガナ			
<input type="checkbox"/> 修士課程	<input type="checkbox"/> 経済学専攻 <input type="checkbox"/> 経営学専攻	氏 名 漢字または ローマ字	(姓)	(名)	男 ・ 女
<input type="checkbox"/> 博士課程	経済学・経営学専攻				
連絡先住所	(大学からの連絡、審査結果の通知は、この住所宛に行います) 〒				
電話番号	自宅 () 携帯 ()	生年月日	19 年 月 日生 (歳)		
最終出身学校	学校名				
	学部・学科・課程名等				
卒業・修了(見込)年月日	年 月 日	<input type="checkbox"/> 卒業・修了 <input type="checkbox"/> 卒業見込・修了見込	国籍		
学 歴 <small>小学校からの学歴を記入（日本における学歴も記入のこと） なお、大学等での研究生・聴講生・科目等履修生等として在学歴がある場合は、その期間も記入すること。</small>	学 校 名	所在地(国・市)	在 学 期 間	年 数	
			年 月～ 年 月	年 ヶ月	
			年 月～ 年 月	年 ヶ月	
			年 月～ 年 月	年 ヶ月	
			年 月～ 年 月	年 ヶ月	
			年 月～ 年 月	年 ヶ月	
			年 月～ 年 月	年 ヶ月	
職 歴	年 月				
	年 月				
	年 月				
	年 月				
現 職	現在職業に就いている人はその職名および勤務先を記入すること。				
備 考	改姓により卒業証明書・成績証明書等の氏名と現在の氏名が異なる場合に記入すること。 改姓年月日および旧姓： 年 月 日 改姓 (旧姓)				

(注意) 学歴欄は卒業見込み、修了見込みの場合も必ず記入すること。
なお、履歴中に虚偽の事項を記載し、又は当然記載すべき事項を記入しなかったことが入学資格認定後判明した場合には、認定を取り消すことがある。

●この申請書に記載された個人情報、入学資格審査の実施・結果通知に使用します。

《博士課程を志望する者は2ページ目にも記入のこと》

承認	却下

博士課程を志望する者のみ記入

研究 歴	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
	年 月
研究論文 (業績) 一覽	

